

科目名	クリエイションテクニックⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスタースコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義20 % 実習80%
時間数	300	作成者	友廣麻紀
【科目の到達目標】 レディスウエアの基本アイテムであるスカート、パンツ、、ショールカラーのジャケット、ラグランスリーブのコート、テーラードジャケット部分縫いの構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。			
【科目の概要】 ファッション業界において商品企画をする為に必要な洋服の構造を理解することは不可欠である。 企画を立てるにあたって必要な縫製技術と知識への理解を深める。			
【授業計画】 90分/コマ		前期	後期
1・2	シャツ	1・2・3	商品企画作品1
3・4・5	プレタ	4・5	上田学園コレクション作品
6・7	シャツ	6・7・8	商品企画作品1
8・9・10	プレタ	9・10	上田学園コレクション作品
11・12	シャツ	11・12・13	商品企画作品1
13・14・15	プレタ	14・15	上田学園コレクション作品
16・17	シャツ	16・17・18	商品企画作品2
18・19・20	プレタ	19・20	上田学園コレクション作品
21・22	シャツ	21・22・23	商品企画作品 2
23・24・25	プレタ	24・25	上田学園コレクション作品
26・27	脇ゴムSK	26・27・28	商品企画作品2
28・29・30	カットソーパターン・縫製	29・30	上田学園コレクション作品
31・32・33	SkorPT(各自)	31・32・33	商品企画作品3
34・35	脇ゴムSK	34・35	上田学園コレクション作品
36・37・38	デニム素材概論	36・37・38	商品企画作品3
39・40	皮革	39・40	上田学園コレクション作品
41・42・43	デニム縫製	41・42・43	商品企画作品3
44・45	皮革	44・45	上田学園コレクション作品
46・47・48	デニム縫製	46・47・48	商品企画作品3
49・50	レース部分縫い	49・50	上田学園コレクション作品
51・52・53	デニム縫製	51・52・53	商品企画作品4
54・55	レース部分縫い	54・55	創作作品
56・57・58	ECサイト商品企画	56・57・58	商品企画作品4
59・60	KIDS作品	59・60	創作作品
61・62・63	ECサイト商品企画	61・62・63	商品企画作品4
64・65	KIDS作品	64・65	創作作品
66・67・68	ECサイト商品企画	66・67・68	商品企画作品4
69・70	KIDS作品	69・70	創作作品
71・72・73	ECサイト商品企画	71・72・73	まとめ
74・75	まとめ	74・75	まとめ
作品(的確な縫製、完成度)60%、試験30%、平常点10%(課題全提出、締め切り期日の厳守) 指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。			
【教科書・参考書】 『スカート』『パンツ』『ジャケット』『コート』『テーラリング』上田安子服飾専門学校 最新版 ・教員作成のオリジナルプリント『ラグランスリーブのコート』			
【教材・教具】 ミシン等縫製機器、洋裁道具一式			

科目名	クリエイションデザイン論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 35 % 実習 65 %
時間数	180	作成者	山田 浩之

【科目の到達目標】

マーケットのトレンドと独創性でオリジナルの商品企画が出来る。

【科目の概要】

マーケットを分析し、新たな視点から企画提案が出来る。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1	クリエイションデザインshirt	31	商品企画①
2	プレタポルテのデザイン研究について1	32	上田学園コレクション企画1
3	デザインとテキスタイル①	33	商品企画①
4	プレタポルテのデザイン研究について2	34	上田学園コレクション企画2
5	デザインとテキスタイル②	35	商品企画①
6	素材産地とのコラボ企画(新潟産地、調査)	36	上田学園コレクション企画3
7	脇ゴムSK	37	商品企画②
8	素材産地とのコラボ企画(新潟産地、提案)	38	上田学園コレクション企画4
9	企業デザイナーの仕事とクリエイション①	39	商品企画②
10	素材産地とのコラボ企画(新潟産地、発表)	40	上田学園コレクション企画5
11	企業デザイナーの仕事とクリエイション②	41	商品企画②
12	海外素材産地とのコラボ企画(フランス、調査)	42	トレンド分析① トrendキーワードⅠ
13	企業デザイナーの仕事とクリエイション③	43	商品企画③
14	海外素材産地とのコラボ企画(フランス、素材柄)	44	トレンド分析② トrendキーワードⅠ
15	デニム	45	商品企画③
16	海外素材産地とのコラボ企画(フランス、提案)	46	トレンド分析③ ランウェイ注目アイテム
17	企業デザイン①リサーチ	47	商品企画③
18	大学とのコラボ企画(調査)	48	トレンド分析④ カラー、モチーフ、ディテール
19	企業デザイン②企画	49	商品企画④
20	大学とのコラボ企画(提案)	50	トレンド分析⑤シルエット、素材
21	企業デザイン③デザイン	51	商品企画④
22	大学とのコラボ企画(発表)	52	ファッションニュース分析1 ファッション業界分析Ⅰ
23	キッズ	53	商品企画④
24	インディゴ染産地コラボ企画(徳島藍、調査)	54	ファッションニュース分析2 ファッション業界分析Ⅰ
25	企業研究①	55	創作作品①
26	インディゴ染産地コラボ企画(徳島藍、提案)	56	ファッションニュース分析1 2021SS分析
27	企業研究②	57	創作作品②
28	インディゴ染産地コラボ企画(徳島藍、発表)	58	ファッションニュース分析2 2021SSコレクション分析
29	企業研究③	59	創作作品③
30	前期末テスト	60	後期末テスト

【成績評価方法】

課題 60%(小テスト含む) 試験 30% 出席 10%

【教科書・参考書】

ファッション週刊誌WWDジャパン『Fashion Design Resource』PNN新社 Robert Leach
コンセプトのつくりかた ダイアモンド社 玉樹真一郎

【教材・教具】

配布プリント 筆記用具 ハンガーイラストが描ける用具 電卓 画材

科目名	パターンメイキングⅢ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスタースズ		昼間
学年	3	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	宮田 共子

【科目の到達目標】

基本パターンの製図からトワール・デテックし工業用パターンを作成。各種デザインパターンへ理論的に展開トワール・デテック後、パターン作成まで。規格サイズの理解。既製服のサイズ展開の基本知識を養う。
自由に企画・デザインするための形状の知識を培う

【科目の概要】

基本パターンの製図からトワール・デテックし工業用パターンを作成。各種デザインパターンへ理論的に展開トワール・デテック後、パターン作成まで。基本のアイテムのサイズ展開の方法を習得する。
自由に企画・デザインするためのパターン展開のバリエーションを発想・検証する

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1・2	●カウルネック(ドレーピング)	31・32	●ビスチェ(ドレーピング)
3・4	●身頃の展開とデザイン	33・34	●スカートの展開とデザイン
5・6	●ダーツ操作のバリエーション	35・36	
7・8	●パターンメイキング概論	37・38	●デザイン ワンピース
9・10	●ラッフルブラウス	39・40	
11・12	●ラグランスリーブ、きものスリーブ、舟形袖	41・42	●メンズ ジャケット
13・14	●マチ付きフードのコート	43・44	
15・16	●フード	45・46	
17・18	●ハイネック、裁ち出しカラー	47・48	●平面⇄立体のデザイン
19・20		49・50	
21・22	●襟のバリエーション	51・52	
23・24		53・54	●グレーディング
25・26	●メンズ シャツ	55・56	●デザイン ジャケット
27・28		57・58	
29・30	試験	59・60	試験

【成績評価方法】

課題の評価60%
期末試験の評価30%
授業態度の評価10%

【教科書・参考書】

服飾手帖社『パターンメイキングⅡ』 江副玲子『パターンメイキング』3年 最新版
山路俊美『メンズ製図集抜粋』 相尾純子『グレーディング』 配布プリント

【教材・教具】

実寸製図用具・トワール・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	クリエイションドローイングⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	大槻 剛

【科目の到達目標】

半年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。

【科目の概要】

アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。製作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1	ヌードボディの表現	1	アイテム画の表現1
2	顔、ヘアスタイル、足、靴の表現	2	アイテム画の表現2
3	着装表現 1(男性的ディテール表現)	3	アイテム画の表現3
4	着装表現 2(女性的ディテール表現)	4	メンズファッションの表現1
5	着装表現 3(その他の応用表現)	5	メンズファッションの表現2
6	画材表現 1(ガッシュの使い方)	6	メンズファッションの表現3
7	画材表現 2(マーカーの使い方)	7	クツ・バック・帽子的表現1
8	画材表現 3(パステルの使い方)	8	クツ・バック・帽子的表現2
9	アイテム画の表現 1(ボトムス)	9	クツ・バック・帽子的表現3
10	アイテム画の表現 2(トップス)	10	画材表現 1(ガッシュの使い方)
11	メンズ表現	11	画材表現 2(マーカーの使い方)
12	キッズ表現	12	画材表現 3(パステルの使い方)
13	デザイン画選手権の作品製作 1(ラフ)	13	早描き1
14	デザイン画選手権の作品製作 2(下絵)	14	早描き2
15	デザイン画選手権の作品製作 3(着色)	15	まとめ

【成績評価方法】

課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%

【教科書・参考書】

立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社2005年
NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』NINE HEADS MEDIA

【教材・教具】

ケント紙、ドローイングペン、着色画材など

科目名	縫製工学	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 80% 小テスト 20%
時間数	30	作成者	相馬成男

【科目の到達目標】

アパレル製品の企画・設計、工業生産（縫製・プレス）、出荷に至る各工程では、デザイナー、マーチャンダイザー、パタンナー、縫製担当者、生産管理者、品質管理者など多くの専門技術者・技能者が携わっており、それぞれの業務の基礎知識と技術、もの作りに対する考え方が理解できる人材育成を目指し、社会へ出て自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れることができることを目標とする。

【科目の概要】

専門学校では注文服（オートクチュール）作りを主体に履修するが、社会へ出ると既製服（プレタポルテ）が主流であり、工業生産のもの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を養成するため、アパレル業・縫製加工業の役割、繊維製品の品質に関わる法律、JIS衣料サイズ、表素材・副資材の品質管理、工業パターン設計方法、縫製加工、生産工程管理・品質管理と原価計算を修得する。

【授業計画】 90分/コマ

- 第1週 ・縫製工学とは ・アパレル業と縫製加工業（Ⅰ）
- 第2週 ・アパレル業と縫製加工業（Ⅱ） ・衣服の品質に関わる法律（Ⅰ）
- 第3週 ・衣服の品質に関わる法律（Ⅱ）
- 第4週 ・JIS衣料サイズ
- 第5週 ・衣服の品質（Ⅰ）
- 第6週 ・衣服の品質（Ⅱ） ・原反検査（Ⅰ）
- 第7週 ・原反検査（Ⅱ）
- 第8週 ・副資材と付属品・・・芯地、接着芯地
- 第9週 ・副資材と付属品・・・裏地、縫い糸、ボタン、ファスナー、中入れ綿
- 第10週 ・工業用パターンと縫製仕様書 ・グレーディング
- 第11週 ・縫製準備工程
- 第12週 ・縫い目形式、工業用ミシン・縫合、工業用ミシン針
- 第13週 ・アイロン ・プレス
- 第14週 ・縫製工程の管理・・・生産システム、縫製工程表
- 第15週 ・縫製工程の管理・・・品質管理、原価計算

【成績評価方法】

- ・平常点（出席率、授業態度）・・・10%
- ・理解力（毎回の小テスト）・・・50%
- ・理解力（期末試験）・・・40%

【教科書・参考書】

- ・『縫製工学』齋藤景一郎著 2版 上田学園服飾手帖社2015年3月1日発行

【教材・教具】

- ・教科書（適宜配布資料）
- ・筆記具

科目名	ファブリック演習	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターマスターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義100 % 実習 %
時間数	30	作成者	河本 育子

【授業の到達目標】

市場動向を読み取り、デザインにあった素材選びのできるスペシャリストを目指す。
 アパレル素材の役割を理解、繊維特性、布地の構造による機能の違いなど専門知識を修得する。

【授業概要】

ユニクロのヒートテックに代表されるように、アパレルにおける素材の機能性はますます重要になってきている。
 講義を通じてさまざまな繊維の機能性、加工による付加価値を理解。さらに布地構造による基本特性を把握し、
 アパレル繊維知識の体系的理解を深めていく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
 ■アパレル製品の生産流通経路(1)
- 2 ■アパレル製品の生産流通経路(2)
 メーカー、産地など
- 3 ■布地の種類
- 4 織物
- 5 編物
- 6 布地まとめ
- 7 ■繊維の種類と特性
 天然繊維(植物繊維)
- 8 天然繊維(動物繊維)
- 9 化学繊維(再生繊維・半合成繊維)
- 10 化学繊維(合成繊維)
- 11 ■素材の機能性
- 12 ■生地加工 染色・プリント・仕上げ
- 13 ■糸の種類と太さ
- 14 総復習(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

平常点(授業態度)10%、理解力50%(小テスト10%、総合テスト40%)、提出物40%
 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

・一見 輝彦『わかりやすいアパレル素材の知識』ファッション教育社 2012年
 ・『生地の事典』株式会社みずしま加工 2013年

【教材・教具】

筆記用具

科目名	コンピュータ演習	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスタースコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	120	作成者	林

【科目の到達目標】

Illustrator&Photoshopのデザインソフトの活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使し実習で制作した作品のポートフォリオが作成できる。

【科目の概要】

情報化社会において情報をいかに円滑に利用するかがビジネス成功の大きな要因の一つとなっている。情報収集・分析から役立つものを見つけ価値を明確にし、その狙いや技術的な詳細などに触れながら、デザイン制作の楽しさや苦労の感情・ノウハウを解き明かす。

【授業計画】

前期		後期	
90分/コマ			
1,2	PC基本操作① イラストレーターの基本操作	31,32	エクセル練習1、2、カレンダー制作
3,4	企業デザインからマップ作成① 商品構成マップ I	33,34	オリジナルパターン帳
5,6	企業デザインからマップ作成② 商品構成マップ II	35,36	エクセル関数・コスト計算
7,8	PC基本操作② イラストレーター的应用 I 便利ツールとキャラクター	37,38	パワポ 1週間コーデ
9,10	プレタ準備 コンセプト入力	39,40	パワポ 2週間コーデ 完成
11,12	プレタ準備 下げ札入力	41,42	中間テスト
13,14	プレタ準備 下げ札入力	43,44	作品ポートフォリオ
15,16	プレタポートフォリオ	45,46	作品ポートフォリオ
17,18	プレタポートフォリオ	47,48	作品ポートフォリオ
19,20	プレタポートフォリオ 途中経過提出	49,50	作品ポートフォリオ
21,22	プレタポートフォリオ	51,52	作品ポートフォリオ
23,24	プレタポートフォリオ	53,54	作品ポートフォリオ
25,26	コンテスト①	55,56	作品ポートフォリオ
27,28	コンテスト②	57,58	作品ポートフォリオ
29,30	前期末テスト	59,60	後期末テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具

科目名	ファッションビジネス論 Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	秦 野 知 邦
【科目の到達目標】			
・ファッションを通じて、社会に貢献できる社会人としての知識や考え方の基礎を身につける。 ・社会人としてのコミュニケーションの能力を高め、即戦力としての知識や行動力を身につける。 ・一人ひとりの目標を明確にし、強い意志でその目標に向かって行動する姿勢を身につける。			
【科目の概要】			
ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解し、なぜそうなのかを考える アパレル業界のしくみの本質を理解し、今の時代にあったビジネス感を養う 最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで自分で行動して調べ、ファッションビジネスを理解する。			
【授業計画】 90分/コマ			
1	ファッションの魅力とファッションビジネスの現状についての講義 即戦力⇒企業が求める人材とは		
2	変わりつつある世界のコレクションとプロモーションについての講義 See now buy now・ファーフリー宣言についてなど		
3	グローバルSPAブランドとラグジュアリーブランドビジネスを比較する LVMH・ケリングとZARA・H&Mについてなど		
4	セレクト系SPAとメーカー系SPAを比較する 商社の役割と力について		
5	就活用のショップリサーチ資料を作成する ショップリサーチのチェックポイントについて		
6	就活用のショップリサーチ資料を作成するためのリサーチを実施する リアル店舗で今を感じる→新たな発見・気づき		
7	就活用のショップリサーチ資料を基にグループミーティング ショップリサーチの資料作成のポイントについて		
8	ショップリサーチ資料に基づくプレゼンテーションを実施 オリジナルな提案を踏まえた資料をパッションをもって伝える		
9	ファッションビジネストレンドについての講義 第4次産業革命とファッションについてなど		
10	ファッションビジネストレンドについての講義 SNSなどのプロモーションとファッションビジネスについてなど		
11	これからのファッションにおけるブランドビジネスについての講義 世界のクリエイティブディレクターの世界観から考える		
12	ファッションビジネストレンドの展望と課題についての講義 南青山・表参道・銀座の市場動向から考える		
13	即戦力として知っておきたい計数についての講義 損益分岐点など		
14	まとめと取引と取引条件についての講義 バイヤーの仕事内容と資質についてなど		
15	期末テスト 筆記試験		
【成績評価方法】			
・ 授業における評価 40% ・ プレゼンテーション 20% ・ 期末試験 40%			
【教科書・参考書】			
日経MJ ・ 織研新聞 ・ 読売新聞 ・ WWD ・ プレジデント			
【教材・教具】			
ノート ・ 筆記用具			

科目名	ニットデザイン	整理番号	
学科	ファッションクリエイター	期	前期
コース	ファッションクリエイターマスターズ		昼間
学年	3年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	30	作成者	重本昌利

【科目の到達目標】

ニットの基礎知識を有して、その知識を用いてオリジナルのニット製品を企画する事が出来る
ニットデザイナーの養成を目標とする。

【科目の概要】

現在市場で販売されるアパレル商品の中で、ニット製品の占める比率は大変多い。
また、カットソーとニットのドッキングなど、生地とニット両方の知識を有したデザイナーが必要とされている。
織生地と、ニット生地の違いを比較しながらニットの基礎知識の理解を深めていく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1・2 ニットの基礎 概要
ニットCAD 基礎知識
- 3・4 組織編み 1
- 5・6 組織編み 2
- 7・8 組織編み 3
- 9・10 ジャカードの考察
- 11・12 インターシャの考察
- 13・14 まとめ、総復習
- 15 テスト

【成績評価方法】

課題評価 50% 期末試験 40%、平常点 10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

A4用紙 縦型A4フラットファイル
SDS-ONE(ニットCAD) SES122-S 8G (コンピューター制御横編み機)